

ふりかえりプリント 9月第3週③

答えのらんをうしろからおってから始め、おわったら自分で丸をつけましょう。

名前

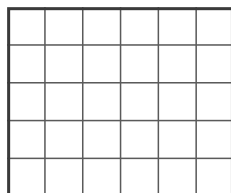
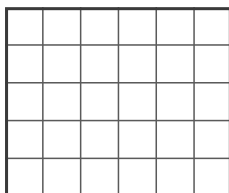
A 数と計算

- ① 3826を四捨五入して、百の位までのがい数にしましょう。

答え

- ② 筆算でしましょう。

$$3.5 \times 4 \qquad 0.8 \times 6$$



- ③ 計算をしましょう。

$$\frac{5}{6} - \frac{1}{4} =$$

答え

- ④ 読んだ本の冊数の表です。人数がいちばん多いのはどの区切りですか。

冊数(さつ)	人数(人)
0以上5未満	7
5以上10未満	14
10以上15未満	6
15以上20未満	3

答え

B 図形・量と測定

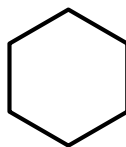
- ① 直角3つ分の角は何度ですか。

答え

- ② 四角形の4つの角の大きさの和は何度ですか。

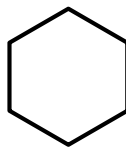
答え

- ③ この正六角形の対称の軸は何本ありますか。



答え

- ④ この正六角形は、点対称な図形ですか。「はい」か「いいえ」で答えましょう。



答え

C 変化とデータ

- ① 7cmの4倍は何cmですか。

答え

- ② 1分間に3Lずつ水を入れます。7分間では何L入りますか。

答え

- ③ 1辺がxcmの正方形のまわりの長さを、xを使った式で表しましょう。

答え

- ④ A、B、C、Dの4人から、会長と副会長を1人ずつ決める決め方は、何通りありますか。

答え

こたえ(おもて)

A

- ① 3800
② $3.5 \times 4 = 14$
 $0.8 \times 6 = 4.8$
③ $\frac{5}{6} - \frac{1}{4} = \frac{7}{12}$
④ 5以上10未満

B

- ① 270度
② 360度
③ 6本
④ はい

C

- ① 28cm
② 21L
③ $x \times 4$
④ 12通り

まちがえた問題は消さずに、赤で書きなおしましょう。

6年9月3週(3) |
①=4年 ②=5年
③④=6年

6-09-3-3 v8



まちがいをみつけたら
教えてください

うるう年は、なぜ百年に一度休むのか

名前

音読サイン

地球が太陽を一周するのにかかる時間は、三百六十五日とちようどではありません。約三百六十五・二四二日です。この端数をそのままにしておくと、こよみは少しずつ季節からずれていきます。

そこで、四年に一度、二月を一日ふやします。○・二五を四回ためて一日にするという考え方です。これで、ずれはほとんど消えます。ほとんど、というのがこの話の要点です。

本当の端数は○・二四二であって、○・二五ではありません。四年に一度ずつ足していくと、今度はわずかに足しすぎになります。その足しすぎは、百年で約○・七五日にもなりま

す。
つまり、三百年から四百年たつと、こよみは一日ぶんずれてしまう計算になります。そこで、百の倍数の年はうるう年にしない、という決まりが加わりました。ところが、それだと今度は引きすぎになるので、四百の倍数の年はやはりうるう年に戻します。二千年がうるう年だったのは、この決まりのためです。

足す、引く、また足す。うるう年の決まりが複雑なのは、作った人が凝ったからではありません。割り切れない数を、割り切れる決まりで追いかけてようとすると、必ずこうなるのです。

(1) 「端数」の意味に合うものを一つ選び、記号に○をつけましょう。

ア いちばん大きい数

イ まちがった計算

ウ きりのよい数からあまった部分

エ 数の順番

(2) 四年に一度うるう年を入れると、どう

なりますか。一つ選び、記号に○をつけましょう。

ア わずかに足しすぎになる

イ ずれが完全に消える

ウ 季節が逆になる

エ 一日短くなる

(3) 百の倍数の年をうるう年にしないと、今度はどうなりますか。文章から四字で書きぬきましょう。

(4) うるう年の決まりが複雑なのは、なぜだと筆者は言っていますか。書きましょう。

書くときのポイント

「割り切れない」という言葉を必ず使う。

「くから。」でおわらせる。

こたえ (うら)

問1 ウ

問2 ア

問3 引きすぎ

問4 (例) 割り切れない数を、割り切れる決まりで追いかけてしようとすると、必ずこうなってしまうから。

〈○のつけ方〉

問1～問3は、答えとびったり同じなら○。問4は〈割り切れない数〉と〈割り切れる決まり〉の対比が書けていれば○。

6-09-3-3 v8

6年 説明文